

都市と交通 グループワーク資料

1 班 Guardian

C1250094 阿部 仁人

C1250071 阿部 慈雄

C1252868 渡邊 悠斗

C1241505 星野聡史

解決すべき問題

- 交通事故が多い
- 高齢者の事故が多い
- 免許返納したいと思っても現在の生活環境では返納が困難
- 未就学児、小学生の飛び出し事故が多い。
- 車依存により公共交通の利用が進まないが、車利用に伴う悪影響がある。
- 公共交通や目的を繋ぐMaasの導入が進んでいるが道半ば

以上のことから考えられる原因

**自家用車への依存
交通量が多い**

課題の設定

**公共交通機関の
利便性が不足している**

自動車依存から脱却するには

**公共交通機関の
利便性を向上させる**

具体的には

- 配車アプリを用いたデマンド交通で必要なときにすぐ到着
- バスやタクシーを用いると地域商店街の利用券配布
- インターネットなどでアンケートの実施、過去のデータ分析
 - 朝や夕方の利用が多い時間帯に多くの人やバスを割り当てる
 - 需要が少ない停留所や時間帯はバスを廃止させる
 - 廃止したことで不便になってしまった人にはデマンド交通を用いて補う

期待される効果

- 自動車を所有していない/運転出来ない人の移動手段が増える
- 公共交通機関を利用することが増えることで交通事故が減る
- 高齢者の運転も相対的に減少することから高齢者事故も減る
- 移動手段の充実により免許を返納しても不便になりづらい
- 自家用車による移動が減少することで環境負荷の低減および渋滞の解消につながる
- アンケートやデータを基にバスの停留所や時間を決定する
 - 住民にとって需要のある場所や時間帯
 - 利用者の増加と運転手の給料面の改善

公共交通機関の利便性向上へ向けた課題

- バスやタクシー運転手の人手不足が深刻
- 人手不足を解消するために多額の費用がかかってしまう
- 仕事の拘束時間が長く賃金が安い

課題を解決するには

- デマンド交通は市と民間業者の連携で運営する
→費用の削減
- 二種免許取得の支援を行い、新たな人材が入りやすい環境を作り出す
→人手不足の解消
- 勤務時間帯を朝のみ・夕方だけに制限することで運転手の拘束時間を減少させる